

平成22年2月26日
消費者庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 6件
(うち石油ストーブ(開放式)1件、石油給湯機付ふろがま1件、石油ふろがま1件、開放式ガス温風暖房機(都市ガス用)1件、ガスこんろ(都市ガス用)1件、ガスこんろ(LPガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故 0件
該当案件無し
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故 6件
(うちテレビ(ブラウン管型)1件、電気ストーブ(ハロゲンヒーター)1件、スキー用ビンディング1件、折りたたみ自転車1件、電気冷蔵庫1件、コンセント1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、審議を予定している案件 1件
(うち除雪機(歩行型)1件)

※1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項
本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。
6. 特記事項
(1) 除雪機使用に係る事故(管理番号A200901049)
除雪機(歩行型)を使用して除雪中、運転者以外の者が誤って除雪機に巻き込まれて死亡する事故が平成22年2月13日に発生しました。

除雪機については、平成19年5月に重大製品事故に係る報告制度が実施されてからこれまでに14件の死亡又は重傷事故が発生しており、このうち3件（本件含む）は今年度発生した死亡事故です。

除雪機に誤って巻き込まれるなどした場合には、死亡又は重傷事故につながるおそれが高いことから、消費者の皆様におかれては、取扱説明書の記載や表示に従い正しく使用してください。

除雪機の使用に際しては、特に以下の点にご注意ください。

- (1) 作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- (2) 雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部（オーガ、ブロワ）が完全に停止してから雪かき棒を使って行う。
- (3) 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから作業を行う。
- (4) 発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意する。
- (5) 除雪作業中は、雪を飛ばす方向に人や、車・建物がないことを確認する。また、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようにする。

なお、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）では、平成17年2月に、除雪機の事故についての注意喚起を実施しています。また、社団法人日本農業機械工業会（除雪機安全協議会）では、平成16年4月より協議会加盟メーカーの除雪機（歩行型）において安全装置の義務化をするとともに、毎年度、事故の未然防止のため積雪地域の市町村等に対して広報紙を通じた注意喚起、販売店に対して使用者への安全指導の徹底を要請しています。

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

事故情報特記ニュース「除雪機の事故について（注意喚起）」

ホームページ : <http://www.nite.go.jp/jiko/news/065/news65.html>

社団法人日本農業機械工業会（除雪機安全協議会）

ホームページ : <http://www.jfmma.or.jp/member/jyosetsuki.html>

※安全啓蒙チラシも上記からダウンロードできます。

安全啓発ポスター : <http://www.jfmma.or.jp/member/images/2007poster.pdf>

除雪機（歩行型）に関する安全運転マニュアル :

<http://www.jfmma.or.jp/member/images/manual.pdf>

- (2) 東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した石油給湯機付ふろがま（管理番号A200901053）

① 事故事象及び再発防止策について

東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した石油給湯機付ふろがまにおいて、パッキンの組み立て不良による内部油漏れにより、製品内部のバーナー付近が焦げる事故が発生しています。

このため、同社は、平成20年9月に新聞社告の掲載及びホームページによる告知により注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償点検・

改修を実施しています。

また、同社は、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続して実施しており、昨年7月からは、地方自治体の協力を得て、点検のお願いのチラシを各戸配布・回覧するなどして改修促進を図っています。

②対象製品等

会社名	ブランド	機種名	製造期間
東陶機器(株) (現TOTO(株))	TOTO	RPE33*、RPE43*、RPH33*、RPH43*	2000年(平成12年)5月から 2004年(平成16年)8月まで
サンポット(株)	sunpot	HMG-Q405AS0、HMG-Q405FS0 HMG-Q405MS0	
長州産業(株)	CIC	PDF-412D-Z、PDF-322D、PDF-412D PDX-322V、PDX-412D、DX-412D	
ネポン(株)	NEPON	URA326B、URB326B、URB406B UR326B、UR326BS、UR406B	
(株)パロマ	Paloma	OFH-30*、OFH-40* OPH-30*、OPH-40*	
長府工産(株)	CHOFU KOSAN	CKX-430AF、CKX-430AF II、CKX-430AE CKX-430AE II、CBX-430F、CBX-430E	2001年(平成13年)4月から 2006年(平成18年)3月まで
高木産業(株)	パーパス	AX-321ARD、AX-401ARD、AS-401RD	2001年(平成13年)3月から 2004年(平成16年)8月まで

※機種名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

改修対象台数 169,975台

改修率 76.0%(平成22年2月18日現在)

③消費者への注意喚起

リコール対象機器をお使いで、まだ販売事業者等の行う改修を受けておられない方は、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。なお、改修対象製品には、東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)の「TOTO」ブランドのほか、サンポット株式会社の「sunpot」ブランド、長州産業株式会社の「CIC」ブランド、ネポン株式会社の「NEPON」ブランド、株式会社パロマの「Paloma」ブランド、長府工産株式会社の「CHOFU KOSAN」ブランド、高木産業株式会社の「パーパス」ブランドの製品もあります。

(TOTO株式会社の問い合わせ先)

TOTO株式会社、サンポット株式会社、長州産業株式会社、ネポン株式会社、株式会社パロマ、長府工産株式会社ブランドの製品

フリーダイヤル：0120-444-309

受付時間：9：00～18：00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

ホームページ：<http://www.toto.co.jp/News/kyutoki0809/index.htm>

高木産業株式会社ブランドの製品

フリーダイヤル：0120-575-399

受付時間：9：00～18：00（土・日・祝日・年末年始を除く）

ホームページ：http://www.purpose.co.jp/special_kinkyu/inspection_news.html

（本発表資料の問い合わせ先）

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：中嶋、服部、榎本

電話：03-3507-9204（直通）

（東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した石油給湯機付ふろがまに関する問い合わせ先）

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：横田、中村、鈴木

電話：03-3501-1707（直通）

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A200901051	平成21年11月3日	平成22年2月22日	石油ストーブ(開放式)	KSR23GD	東芝ホームテクノ株式会社	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A200901053	平成22年2月9日	平成22年2月22日	石油給湯機付ふろがま	RPE43KA	TOTO株式会社(製造:東陶ユプロ株式会社(解散))	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品が焼損する火災が発生していた。事故原因は、製品内部の送油ユニット部分について、電磁ポンプパッキンを押さえる板がずれている状態で組み込んだため、そのすき間から油漏れが発生。漏れた油が燃焼筒パッキンに付着、収縮し、熱気が漏れて器具内部が焼損したものと考えられる。	宮城県	平成20年9月2日からリコール実施
A200901054	平成22年2月11日	平成22年2月22日	石油ふろがま	FB-4E3M	サンポット株式会社	火災	当該製品で風呂を沸かしたところ、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	北海道	製造から10年以上経過した製品
A200901059	平成22年2月15日	平成22年2月24日	開放式ガス温風暖房機(都市ガス用)	SGF-239ER(西部ガス株式会社ブランド)	リンナイ株式会社(西部ガス株式会社ブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品から異臭とともに発煙し、当該製品が焼損した。現在、原因を調査中。	福岡県	
A200901060	平成22年2月4日	平成22年2月24日	ガスこんろ(都市ガス用)	IC-M335F	パロマ工業株式会社	火災 軽傷2名	建物が全焼する火災が発生し、2名が火傷を負った。現場に当該製品があった。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	新潟県	
A200901061	平成22年2月15日	平成22年2月24日	ガスこんろ(LPガス用)	PA-10H-2	パロマ工業株式会社	火災 死亡1名	建物が全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。	茨城県	平成22年2月16日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済事故

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

該当案件無し

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200901050	平成22年2月7日	平成22年2月22日	テレビ(ブラウン管型)	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。	広島県	
A200901052	平成22年2月7日	平成22年2月22日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	火災 死亡1名	火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。	千葉県	
A200901055	平成22年1月17日	平成22年2月22日	スキー用ビンディング	重傷1名	当該製品を装着し、スキー滑走中、転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	福井県	A200901029と同一事故
A200901056	平成22年1月25日	平成22年2月23日	折りたたみ自転車	重傷1名	当該製品で走行中、ハンドル部が折りたたまれた状態になり、転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	大阪府	
A200901058	平成22年2月12日	平成22年2月24日	電気冷蔵庫	火災 軽傷2名	建物が焼損する火災が発生し、2名が火傷を負った。現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A200901062	平成22年2月15日	平成22年2月24日	コンセント	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品が焼損していた。現在、原因を調査中。	東京都	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において審議を予定している案件

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200901049	平成22年2月13日	平成22年2月22日	除雪機(歩行型)	死亡1名	除雪作業中、側にいた家人が当該製品の回転部(オーガ部)に巻き込まれ、死亡した。当該製品前部にある集雪口の回転中のオーガ部に近づいたことから、巻き込まれたものと考えられる。 なお、当該製品には、運転中に集雪口に手・足などを絶対に近づけない、運転中は周囲に人を近づけない等の禁止事項が取扱説明書及び本体表示に記載されている。	秋田県	